

## 公益社団法人日本地震学会平成25年度第2回理事会議事録

1. 日 時 平成25年5月21日(火) 13:00~14:00
2. 場 所 幕張メッセ国際会議場 101B室
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事13名 監事2名
  - ・理事：加藤照之，井出 哲，岡元太郎，香川敬生，加藤尚之，小泉尚嗣，関口渉次，  
武田哲也，田所敬一，堀川晴央，松原 誠，モリジェームズジロウ，八木勇治
  - ・監事：川崎一朗，平原和朗
  - ・事務局：中西のぶ江

### 5. 審議事項

議長加藤照之は、本日の理事会の理事出席者が13名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

#### 第1号議案 育志賞の学会推薦について

第4回(2013年度)日本学術振興会育志賞推薦候補者について岡元常務理事より説明が行われた。提出された資料を審議した結果、東北大学の吉田圭佑会員を学会推薦することとした。また、次回以降の育志賞の推薦候補者の選考方法について、公募の他、大会・企画委員会において学生優秀発表賞受賞者選考の活用を検討することとした。

#### 第2号議案 特別シンポジウムについて

今年度の特別シンポジウムの開催について議長より説明が行われた。会員への公募に応募はなかったが事業計画に特別シンポジウムの開催を明記しており、前回の理事会に引き続き理事に意見を募った。先の理事会で提案のあった地学教育に関するシンポジウム提案のほか、川崎監事より、東北地方太平洋沖地震は地震学会にとって対応することはもうないのかという意見を受けているので、シンポジウム等を検討してはどうかとの意見があった。議論の結果、学校教育委員会との連携を図りながら、地震教育のみならず東北地方太平洋沖地震後の地震教育や予測等の教育も含めた、教育関係者にとどまらず広く会員の参加が見込まれるようなシンポジウムの提案を「地震学を社会に伝えるWG」において早急に検討することとした。

#### 第3号議案 日本地震工学シンポジウム余剰金寄附について

岡元常務理事より議案についての説明が行われた。また、香川理事より余剰金寄附後の使途について補足説明が行われた。審議の結果、全会一致で余剰金について日本地震工学シンポジウム運営積立金として寄附することを承認した。

#### 第4号議案 共催・後援・協賛について

以下4件の資料が回覧され、共催の承認および後援名義の使用を許可した。

共催：国際第四紀学連合（INQUA）第19回大会（2015年，名古屋）

後援：第4回「震災対策技術展」宮城

『防犯防災総合展 in KANSAI 2013』

第49回東・東南アジア地球科学計画調整委員会（CCOP）年次総会

#### 第5号議案 理事メーリングリストについて

議長から平成25年第1回理事会の報告事項「今年度の理事メーリングリストの登録」について、前回理事会を欠席した松原理事からの発議をうけ、議案とした経緯について説明が行われた。理事で意見を交わしたところ、広く社会との接点を理事が持つべきであるという意見は出されたが、理事メーリングリストについては、前回の報告通り運用申し合わせに沿った構成とし、今後の事業活動の課題によってはオブザーバーの登録等や理事の定員数を変更することを適宜検討することとした。

#### 第6号議案 入会申請の承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった9名（内学生5名）の入会を全会一致で承認した。

## 6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 正会員4名（内学生0名）の退会届が提出された。
2. 松原理事（普及行事担当）より第14回地震火山こどもサマースクール（8月3～4日開催，参加者30名程度を予定）の準備状況について報告があった。
3. 八木理事より秋季大会について、特別セッションの応募がなかったこと、特別シンポジウムの日程については若手学術奨励賞受賞記念講演の後に予定していることなどが報告された。なお、特別シンポジウムの詳細についてはプログラム編成の都合上、8月上旬には大会・企画委員会へ連絡してほしい旨の要請があった。
4. 加藤会長よりジョン・ミルン展および関東地震90周年記念シンポジウムの準備状況について報告があった。また、総会での報告事項（その他）についての説明が行われた。

5. 堀川理事よりE P Sの科研費が採択されたことと、出版社の変更に関する状況について報告があった。
6. M o r i 理事よりS S Aとの共同大会の打診について、共同大会は開催時期の調整が難しく、ジョイントセッションを各学会の大会で開催してはどうかとの提案があった旨が報告された。その報告を受け、加藤会長より会員のジョイントセッションへの派遣等に海外渡航旅費助成金の助成制度を活用してはどうかとの意見があった。
7. 関口理事より、地震の投稿状況について報告があった。最近の刊行状況から、投稿数を増やすため、特集などを組んではとの意見があった。